

OIL FREE SCREW

NEXTseries SINGLE STAGE (15/22/37/55kW)



高効率、省エネ、低騒音など従来のメリットに加え、 使い勝手のいい高機能や省メンテナンス性にも、日立の技術を凝縮。

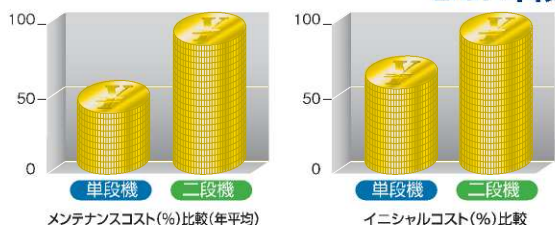


※写真は55kW空冷機 (Vタイプ) の内部構造です。

単段オイルフリースクリューは日立独自の技術です。

メンテナンスコスト・イニシャルコストで選ぶなら

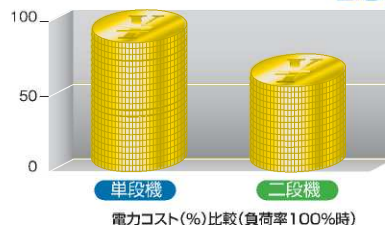
・・・DSP単段機!!



※グラフは当社55kWドライヤー不付の例

ランニングコスト(電力コスト)で選ぶなら

・・・DSP二段機!!



※グラフは当社45~55kWの例

同一出力クラスでの比較

DSP単段機は一段圧縮で所定の圧力(0.7MPa)まで、昇圧後、アフタークーラーで冷却。このため、構成部品は二段機より少なくなり、当然イニシャルコストは二段機と比較して安価となります。また、メンテナンスコストの大部分を占めるオーバーホールもエアエンドが1つのため、約半分になります。

同一吐出し空気量クラスでの比較

DSP二段機は2つのエアエンドで2段階に昇圧。中間冷却構造のため、同一出力クラスでは二段機の方が吐出し空気量が多くなります。特に大型機の場合は、同一空気量で比較すると二段機の方が動力は小さく、電力コストも安価になります。

高性能スクリー圧縮機のエアエンド構造

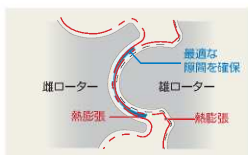
ステンレスファインローター

高精度の歯面研削で加工されたローターの素材には、耐食性と耐久性に優れた特殊ステンレス鋼を採用。さらに内部の漏れを少なくするため、運転中の熱膨張を考慮した鏡面加工を施し最適な隙間を確保しています。

●高性能固体潤滑被膜「特許取得」(特許05416072号)

また、ローターには金属間での隙間をさらに縮小し、性能向上を図るために固体潤滑被膜を塗装してあります。この固体潤滑被膜は、300℃を超える過酷な環境でも十分な性能を有するもので、日立独自の技術が適用されています。

エアエンド



油漏れを防ぐシャフト・シール

日立がオイルフリースクリュー圧縮機用に設計したビスコシールは、内部の渦巻き溝で油を積極的におしよめます。エアシールとビスコシールの組み合わせで圧縮室への油の浸入を防ぎます。



ベアリング、タイミングギヤ

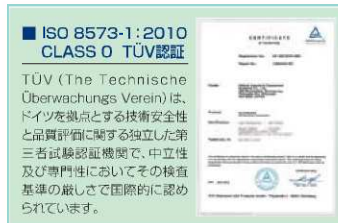
ベアリングには専用のボールベアリングとローラーベアリング、潤滑にジェット給油を採用。また、精密に仕上げられたタイミングギヤはローターの最適な隙間を確保しています。

クリーンエア

クラス0レベルのオイルフリーエアを提供 (DSP全機種)

ISO 8573-1 (圧縮空気—汚染物質および清浄等級)に基づき、第三者機関(TÜV)にて日立オイルフリースクリュー圧縮機(DSP)の吐出圧縮空気中の油分濃度測定を実施。吐出圧縮空気中のオイル含有量は、最高品質等級の「クラス0」レベルの圧縮空気であることが試験により証明されました。

クラス0の清浄度を有する圧縮空気を得るためには、圧縮機設置場所の大気中に含まれる油分、有機溶剤成分がクラス0レベルの濃度であることが必須条件となります。圧縮機設置場所の周囲環境が劇ければクラス0の清浄度を有する圧縮空気を得ることはできません。



省エネ性を追求

PQワイドモード (Vタイプ)【特許 第3516108号】

インバータ制御で最高回転数を自動調整し、使用圧力を下げた場合に空気量を増加できます。

PQワイドモード使用時の吐出し空気量

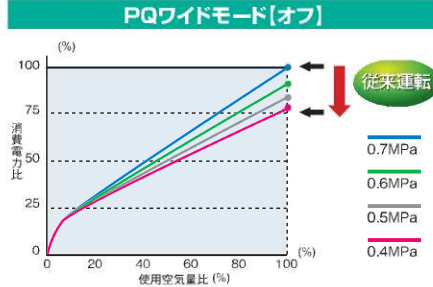
単位: m³/min

吐出し圧力 MPa	0.4	0.5	0.6	0.7
機種				
22kW	4.3	4.0	3.7	3.4
37kW	6.4	6.0	5.5	5.0
55kW	8.2	7.6	7.0	6.4

注) ドライヤー内蔵型はPQワイドモード作動最低圧力は0.5MPaになります。

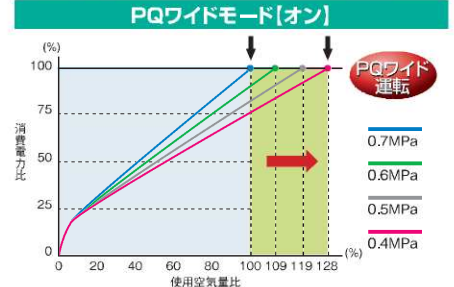
● ニーズに応じて、PQワイドモードを「オン/オフ」選択が可能です。

運転圧力を下げて確実に省エネしたい…



1. 運転圧力を0.7MPaから0.6MPaに低減したときの最大の消費電力は自動的に0.7MPa時の約92%になります。
2. さらに0.5MPaまで圧力を下げた場合の消費電力は約85%になり、0.4MPaまで圧力を下げた場合には消費電力は約79%になります。使用空気量ははっきりしていて、圧力低減で確実に電力を下げたい場合にPQワイドモード:オフがおすすめです。

運転圧力を下げて圧縮機の定格最大動力まで活用したい…

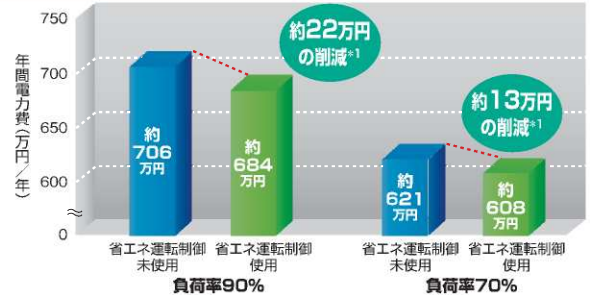
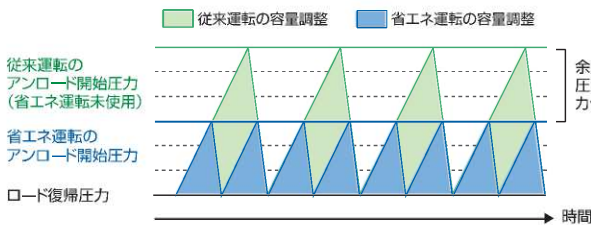


1. 運転圧力を0.7MPaから0.4MPaに低減したとき、消費電力は約79%になります。
2. 圧力低減で余った動力を使用して、定格時の128%※1まで空気量をアップさせることができます。このときの消費電力は100%になります。圧縮機の定格動力を最大限に生かして空気量を必要とする場合は、PQワイドモード:オンがおすすめです。

※1 55kW機の場合

省エネ運転制御 (一定速機)

空圧機器の負荷率に応じて自動的にアンロード開始圧力を下げ、余剰な空気圧力をカット。省エネルギー運転を実現します。



※1 空気槽1.24m³設置、電力料金15円/kWh、8,000時間/年運転時
55kW一定速機(0.7MPa仕様)、必要圧力0.6MPa

省エネルギーのご提案

Vタイプ(可変速機)と一定速機による組み合わせ方法により、さまざまな運転での省電力が可能です。

台数制御を行わずに圧縮機2~3台で簡単に省電力運転をしたい。

VMコンビシステム

Vタイプと一定速機を組み合わせた新しい省エネ運転

台数制御でさらに省電力運転をしたい。

Single-V 台数制御システム

台数制御にVタイプを組み合わせ簡単に省エネ運転

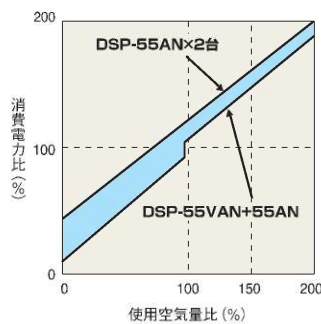
台数制御以上の省電力効果を出し、かつ運転時間も平準化したい。

Multi-V 台数制御システム

すべてVタイプとし運転時間平準化で省エネ運転

VMコンビ基本システム例

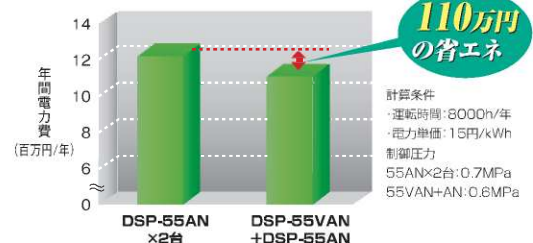
(55kW×2台の例)



VMコンビシステムにすることによって、次のような効果があらわれます。

使用空気量比150%時で年間110万円の省エネ。

使用空気量比150%時の年間電力費比較



計算条件
・運転時間:8000h/年
・電力単価:15円/kWh
制御圧力
55AN×2台:0.7MPa
55VAN+AN:0.6MPa

油煙回収装置 (OMR)、ドレン自動排出弁を標準装備

ギャケースからのオイルミストを回収し、再利用できる油煙回収装置 (オイルミストリムーバ) を標準装備しました。
また、アフタークーラードレン自動排出弁を装備し、エアロスなくドレンを間欠排出します。

油煙回収装置 (OMR)



アフタークーラードレン自動排出弁



(オプション) 日立フードグレードDSPオイル 日立食品機械用潤滑油

国際的な食品安全衛生管理手法「HACCP」※1に対応した潤滑油

日立オイルフリー圧縮機DSPシリーズにおいて、食品業界向けへHACCP※1に対応した日立食品機械用潤滑油「HITACHI FOOD GRADE DSP OIL」を開発、「食の安全」に対する期待にお応えした潤滑油です。

特長

世界的な衛生管理手法HACCP※1に対応しています。
米国FDA※2が規定した安全な材料を使用しています。
米国NSFインターナショナル※3によりH1グレード※4に認証登録されています。
一般の鉱物油に比べ2倍の長寿命です。※5



※1 Hazard Analysis Critical Control Point (危害要因分析に基づく必須管理点)
※2 Food and Drug Administration (米国食品医薬品局)
※3 National Sanitation Foundation International (国際衛生科学財団)
※4 偶発的に食品に触れる可能性がある個所で使用できる潤滑油、原料は米国食品医薬品法FDA21CFR178.3570で規定されたもののみ使用可
※5 従来の鉱物系潤滑油に対し化学合成系潤滑油を用いることにより長寿命 (交換サイクル: 8,000時間または1年の早い方)

仕様表

項目	内容
ISO 粘度グレード	46
色 相	無色透明
密度 @ 15°C (kg/L)	0.84
粘度 @ 40°C (mm ² /s)	47
引火点 (°C)	200
流動点 (°C)	-50
内容量 (L)	20
交換サイクル	8,000時間または1年の早い方
異種潤滑油からの変更	専用フラッシングオイル (新油 20L缶) で30min×2回 フラッシング後本油充填
荷姿	ポリタンク入り
質量 (kg)	約18

注) 1. 本油、フラッシングオイル危険等級: 危険等級Ⅲ 第4類第4石油類
2. 市販潤滑油(鉱物油)からHITACHI FOOD GRADE DSP OILに交換する際は必ず最寄りのサービスステーションまたは当社営業にご相談ください。

単段オイルフリースクリューならではの低圧多風量仕様

標準タイプ、Vタイプにラインアップ

吐出し空気量は55kW機Vタイプ(0.3MPa仕様)で**32%アップ***の**8.5m³/min**

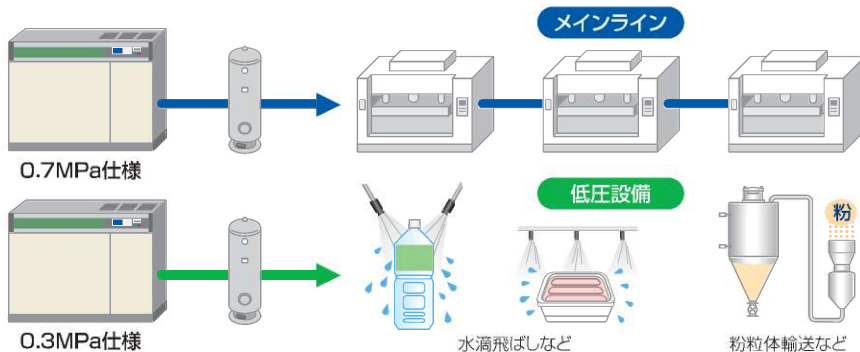
このような悩みがありませんか?

一般的なブロフでは圧力が低過ぎるし、
空気圧縮機の標準仕様では圧力が高過ぎる…。
何かいい方法はないのかな??



* DSP-55VAN (仕様圧力0.7MPa時:吐出し空気量6.4m³/min)
低圧多風量仕様 (仕様圧力0.3MPa時:吐出し空気量8.5m³/min)

導入後 必要圧力に合わせて空気圧縮機を使い分けましょう! 適所・適量・適圧



例えば、同出力でも圧力仕様が違えば…

- 標準仕様DSP-55VAN (仕様圧力0.7MPa、吐出し空気量6.4m³/min)を低圧多風量仕様(同出力)に置換えた場合、仕様圧力0.3MPaにて吐出し空気量は32%アップの8.5m³/minとなります。
- 必要圧力により空気圧縮機を使い分け、エネルギー(電力)の無駄遣いをなくします。
- 比較的多量の圧縮空気を必要とする低圧ラインには低圧多風量機がお勧め。(標準圧力仕様機では圧力を下げて運転しても吐出し空気量は多くなりません。)

安全に関するご注意

- 圧縮機の使用対象について
 - このカタログに掲載の圧縮機の取り扱い気体は空気のみです。空気以外の気体の圧縮には絶対に使用しないでください。(火災・破損などの原因となります。)
 - 本圧縮機は圧縮空気を直接吸引する呼吸器系の機器には使用できません。
- 据え付け場所に関して
 - 本圧縮機は屋内に据え付けてください。雨や蒸気などの水分のかかる場所では使用しないでください。(火災・感電・各部の発錆・寿命低下の原因となります。)
 - 近くに爆発性・引火性ガス(アセチレン・プロパンガスなど)・有機溶剤・爆発性粉じんおよび火気のない場所で使用してください。(火災・事故の原因となります。)
 - アンモニア・酸・鉄分・亜硫酸ガスなどの腐食性ガスのある場所では使用しないでください。(発錆・寿命低下・破損の原因となります。)
- ご使用に際して
 - ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。 ● このカタログは、日本国内でご使用になる製品について記載してあります。
 - 製品の改造および部品の改造は絶対にしないでください。(破損・故障の原因となります。)

仕様表

■ 空冷シリーズ (15/22kW)

[]はドライヤー内蔵型

項目・単位	型式	標準タイプ (一定速機)				
		DSP-15A[R]5N DSP-15A[R]6N		DSP-22A[R]5N DSP-22A[R]6N		
吐出し圧力	MPa	0.7	0.4	0.7	0.4	
吐出し空気量	m³/min	2.0	2.5	3.4	4.0	
PQワイドモード作動範囲	MPa	—	—	—	—	
公称出力	kW	15		22		
主モーター型式	—	4極全閉外扇モータ				
吸込み圧力・温度	℃	大気圧・0~40 [5~40]				
吐出し空気温度	℃	吸込み温度+15以下				
吐出し管径	B	Rc1		Rc1-1/2		
電源電圧 (50/60Hz)	V	200/200・220				
始動方式	—	直入れ		スターデルタ		
駆動方式	—	ベルト掛+ギヤ増速				
潤滑油充填量	L	12 (非充填)				
ファンモーター出力	kW	0.4		0.75		
クーラポンプモーター出力 (50/60Hz)	kW	0.2/0.3				
[ドライヤー]	出口空気の露点	℃	[10 (圧力下)]	—	[10 (圧力下)]	—
	冷凍機公称出力	kW	[0.5]	—	[1.1]	—
	使用冷媒	—	[R407C]	—	[R407C]	—
概略質量	kg	750 [780]		800 [860]		
外形寸法 (幅×奥行×高さ)	mm	1,400×970×1,400				
騒音値 (正面 1.5m)	dB (A)	62	63	63	64	

Vタイプ (可変速機)				
DSP-22VA[R]5N DSP-22VA[R]6N				
吐出し圧力	MPa	0.7	0.3	
吐出し空気量	m³/min	3.4	4.6	
PQワイドモード作動範囲	MPa	0.4~0.7 [0.5~0.7]		
公称出力	kW	22		
主モーター型式	—	4極全閉外扇モータ		
吸込み圧力・温度	℃	大気圧・0~40 [5~40]		
吐出し空気温度	℃	吸込み温度+15以下		
吐出し管径	B	Rc1-1/2		
電源電圧 (50/60Hz)	V	200/200・220		
始動方式	—	インバータ		
駆動方式	—	ベルト掛+ギヤ増速		
潤滑油充填量	L	12 (非充填)		
ファンモーター出力	kW	0.75		
クーラポンプモーター出力 (50/60Hz)	kW	0.2/0.3		
[ドライヤー]	出口空気の露点	℃	[10 (圧力下)]	—
	冷凍機公称出力	kW	[1.1]	—
	使用冷媒	—	[R407C]	—
概略質量	kg	850 [910]		
外形寸法 (幅×奥行×高さ)	mm	1,650×970×1,400		
騒音値 (正面 1.5m)	dB (A)	63	64	

■ 空冷シリーズ (37/55kW)

[]はドライヤー内蔵型

項目・単位	型式	標準タイプ (一定速機)				
		DSP-37A[R]5N DSP-37A[R]6N		DSP-55A[R]5N DSP-55A[R]6N		
吐出し圧力	MPa	0.7	0.4	0.7	0.4	
吐出し空気量	m³/min	5.0	5.9	6.4	8.0	
PQワイドモード作動範囲	MPa	—	—	—	—	
公称出力	kW	37		55		
主モーター型式	—	4極全閉外扇モータ				
吸込み圧力・温度	℃	大気圧・0~40 [5~40]				
吐出し空気温度	℃	吸込み温度+15以下				
吐出し管径	B	Rc1-1/2				
電源電圧 (50/60Hz)	V	200/200・220				
始動方式	—	スター・デルタ (3コンタクタ)				
駆動方式	—	ベルト掛+ギヤ増速				
潤滑油充填量	L	18 (非充填)				
ファンモーター出力	kW	0.75		0.9		
クーラポンプモーター出力 (50/60Hz)	kW	0.2/0.3				
[ドライヤー]	出口空気の露点	℃	[10 (圧力下)]	—	[10 (圧力下)]	—
	冷凍機公称出力	kW	[1.1]	—	[1.1]	—
	使用冷媒	—	[R407C]	—	[R407C]	—
概略質量	kg	1,020 [1,170]		1,240 [1,390]		
外形寸法 (幅×奥行×高さ)	mm	1,830×980×1,580 [2,230×980×1,580]				
騒音値 (正面 1.5m)	dB (A)	66	68	68	70	

Vタイプ (可変速機)				
DSP-37VA[R]5N DSP-37VA[R]6N				
吐出し圧力	MPa	0.7	0.3	
吐出し空気量	m³/min	5.0	6.7	
PQワイドモード作動範囲	MPa	0.4~0.7 [0.5~0.7]		
公称出力	kW	37		
主モーター型式	—	4極全閉外扇モータ		
吸込み圧力・温度	℃	大気圧・0~40 [5~40]		
吐出し空気温度	℃	吸込み温度+15以下		
吐出し管径	B	Rc1-1/2		
電源電圧 (50/60Hz)	V	200/200・220		
始動方式	—	インバータ		
駆動方式	—	ベルト掛+ギヤ増速		
潤滑油充填量	L	18 (非充填)		
ファンモーター出力	kW	0.75		
クーラポンプモーター出力 (50/60Hz)	kW	0.2/0.3		
[ドライヤー]	出口空気の露点	℃	[10 (圧力下)]	—
	冷凍機公称出力	kW	[1.1]	—
	使用冷媒	—	[R407C]	—
概略質量	kg	1,080 [1,230]		
外形寸法 (幅×奥行×高さ)	mm	1,830×980×1,580 [2,230×980×1,580]		
騒音値 (正面 1.5m)	dB (A)	66	68	

■ 水冷シリーズ (37/55kW)

項目・単位	型式	標準タイプ (一定速機)			
		DSP-37W5N DSP-37W6N		DSP-55W5N DSP-55W6N	
吐出し圧力	MPa	0.7	0.4	0.7	0.4
吐出し空気量	m³/min	5.0	5.9	6.4	8.0
PQワイドモード作動範囲	MPa	—	—	—	—
公称出力	kW	37		55	
主モーター型式	—	4極全閉外扇モータ			
吸込み圧力・温度	℃	大気圧・0~40			
吐出し空気温度	℃	冷却水温度+13以下			
吐出し管径	B	Rc1-1/2			
電源電圧 (50/60Hz)	V	200/200・220			
始動方式	—	スター・デルタ (3コンタクタ)			
駆動方式	—	ベルト掛+ギヤ増速			
潤滑油充填量	L	14 (非充填)			
ファンモーター出力	kW	0.1			
冷却水量	L/min	80			
冷却水温	℃	32以下			
冷却水管径	B	Rc1			
概略質量	kg	970		1,190	
外形寸法 (幅×奥行×高さ)	mm	1,830×980×1,580			
騒音値 (正面 1.5m)	dB (A)	64	66	64	66

Vタイプ (可変速機)			
DSP-37VWN			
吐出し圧力	MPa	0.7	0.3
吐出し空気量	m³/min	5.0	6.7
PQワイドモード作動範囲	MPa	0.4~0.7	
公称出力	kW	37	
主モーター型式	—	4極全閉外扇モータ	
吸込み圧力・温度	℃	大気圧・0~40	
吐出し空気温度	℃	冷却水温度+13以下	
吐出し管径	B	Rc1-1/2	
電源電圧 (50/60Hz)	V	200/200・220	
始動方式	—	インバータ	
駆動方式	—	ベルト掛+ギヤ増速	
潤滑油充填量	L	14 (非充填)	
ファンモーター出力	kW	0.2	
冷却水量	L/min	80	
冷却水温	℃	32以下	
冷却水管径	B	Rc1	
概略質量	kg	1,050	
外形寸法 (幅×奥行×高さ)	mm	1,830×980×1,580	
騒音値 (正面 1.5m)	dB (A)	64	66

- 吐出し空気量は、吐出し圧力時に吐出す空気量を吸込み状態に換算した値です。
- 騒音値は正面 1.5m、高さ 1mにおける全負荷運転時、クーラードレン自動排出弁閉時、無騒音室条件に換算した値です。また、運転条件が異なる場合や、周囲の反響の影響を受ける実際の据え付け状態では、表示値より大きくなります。
PQワイドモードON時は騒音値が3dB増加することがあります。
- ドライヤー内蔵型の出口空気露点、周囲温度30℃、入気温度45℃、定格圧力の場合の値です。ドライヤー内蔵型は使用圧力0.4MPa以下の場合には、ドライヤー露点が大巾に悪化します。PQワイドモードON時で吐出し圧力0.7MPa以下の運転時には吐出し空気露点は高くなり、吐出し圧力0.6MPa時では約3℃増加します。
- ドライヤー内蔵型の吐出し空気量は、ドレン凝縮時に最大3%減少します。
- 防露仕様、簡易/パッケージ (オプション) 仕様時には吐出し空気温度は大気温度+18℃以下となります。(空冷機)
- 漏電ブレーカーは本機には内蔵しておりませんので、お客様にてご用意ください。
- 本圧縮機は圧縮空気を直接吸引する呼吸器系の機器には使用しないでください。

- 吐出し圧力はゲージ圧力です。
- 設置場所は、屋内とし、爆発性、腐食性のない環境で、湿気、塵埃の少ない場所としてください。
- 外観仕様などについては予告なく変更することがあります。
- 外形寸法は配管等の突起物は含みません。
- 一定速機の0.4MPa仕様、可変速機の0.3MPa仕様はドライヤー不付型のみとなります。

■ 型式説明

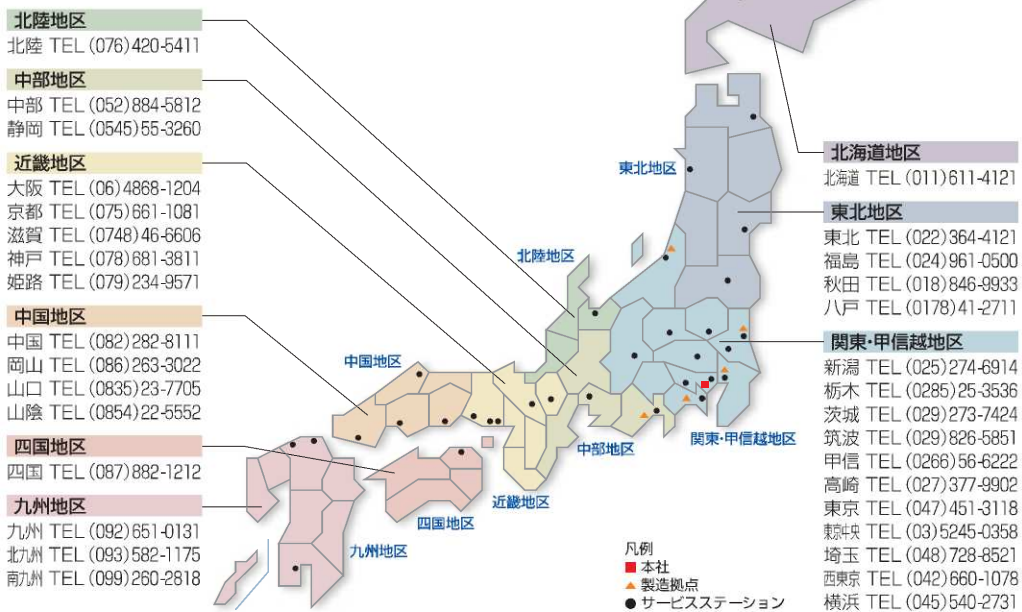


環境・省エネに貢献する
株式会社 日立産機システム

お問い合わせ営業窓口

本社・営業統括本部	〒101-0022	東京都千代田区神田練堀町3番地 (AKSビル)	TEL (03)4345-6041 (ダイヤル)
北海道支社	〒063-0814	札幌市西区琴似四条一丁目1番30号	TEL (011)611-1224 (代表)
東北支社	〒985-0843	多賀城市明月二丁目3番2号	TEL (022)364-2710 (ダイヤル)
福島支店	〒963-8041	郡山市富田町字町西32番2	TEL (024)961-0500 (代表)
関東支社	〒101-0022	東京都千代田区神田練堀町3番地 (AKSビル)	TEL (03)4345-6056 (ダイヤル)
茨城支店	〒312-0063	ひたちなか市田彦字二本松1646番地2	TEL (029)273-7424 (代表)
横浜支店	〒223-0057	横浜市港北区新羽町760番1号	TEL (045)540-2731 (代表)
新潟支店	〒950-0892	新潟市東区寺山二丁目1番5号	TEL (025)274-6914 (代表)
甲信支店	〒392-0012	諏訪市大字四賀2408番2	TEL (0266)56-6222 (代表)
北陸支社	〒939-8205	富山市新根塚町一丁目4番43号	TEL (076)420-5711 (代表)
中部支社	〒456-8544	名古屋市熱田区桜田町16番17号	TEL (052)884-5822 (ダイヤル)
静岡支店	〒417-0034	富士市津田261番18号	TEL (0545)55-3260 (代表)
関西支社	〒660-0806	尼崎市金楽寺町一丁目2番1号	TEL (06)4868-1226 (ダイヤル)
京滋支店	〒601-8141	京都市南区上鳥羽卯ノ花62番地	TEL (075)661-1081 (代表)
中国支社	〒735-0029	安芸郡府中町茂陰一丁目9番20号	TEL (082)282-8112 (代表)
山口支店	〒747-0822	防府市勝間三丁目9番17号	TEL (0835)23-7705 (代表)
四国支社	〒761-8012	高松市香西本町142番地5	TEL (087)882-1192 (代表)
九州支社	〒812-0051	福岡市東区箱崎ふ頭五丁目9番26号	TEL (092)651-0141 (代表)
エンジニアリング事業推進本部	〒101-0022	東京都千代田区神田練堀町3番地 (AKSビル)	TEL (03)4345-6023 (ダイヤル)
海外営業企画部	〒101-0022	東京都千代田区神田練堀町3番地 (AKSビル)	TEL (03)4345-6529 (ダイヤル)

サービスステーションを中心に、
 行き届いた保守・サービス活動を行っています。



<http://www.hitachi-ies.co.jp>

信用と行き届いたサービスの当社へ



登録番号: JACO-EC97J1107



登録番号: JQA-QM3443

日立産機システム空圧システム事業部(清水地区)は、環境マネジメントシステムの国際規格 ISO14001の認証を取得しています。

日立産機システム空圧システム事業部(清水地区)は、本カタログに掲載されているオイルフリースクレーパーの品質保証に関する国際規格ISO9001の認証を取得しています。

●このカタログに掲載した内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

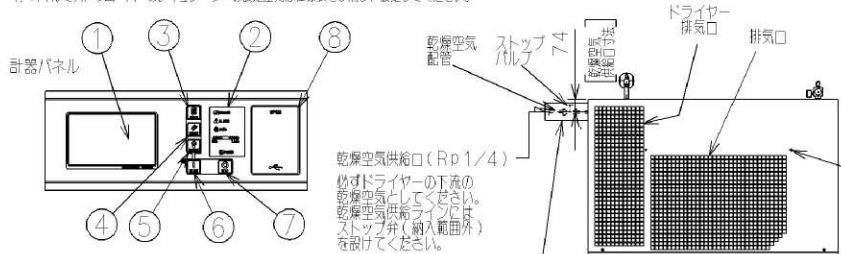
6890009S

ご注意

1. 圧縮機は必ず屋内に据付けてください。
2. 一点鎖線の配管材は、青札においてご用意ください。
3. 基礎ボルト位置寸法、及び基礎への据付時の注意事項は、別図面「基礎ボルト位置図」を参照してください。
4. 据付時、配管時の注意事項は、別図面「据付及び配管時の注意 (1)~(4)」を参照してください。
5. 排気タクト取付用ビス穴の位置寸法は、別図面「排気口詳細図」を参照してください。
6. クレーンによる運搬の際はベース部の穴 ⑩⑪にワイヤーを通してください。フォークリフトによる運搬の際はベース部の穴 ⑩⑪にフォーク爪を差し込んでください。
7. 電源OFF直後もインバータ、DCBLコントローラーの端子に電荷が残っていますので、最低10分間は充電部に触れないでください。
8. **FitLive**をご利用の際は、別図面「FitLiveサービスに関するご注意」を参照してください。

ご注意(オイルミストリムーバー)

1. オイルミストリムーバーへの操作空気は、原則的にドライヤー下流の乾燥空気とし、必要に応じてレギュレーターからのドレンを排出してください。
2. オイルミストリムーバーの操作圧力として0.39MPa以上の圧力を確保できるように操作空気配管を敷けてください。操作空気配管は納入範囲外ですので据付場所に応じて貴社にてご準備してください。
●配管サイズの目安として、元圧が0.70MPaの場合、配管長さが5m以内であれば内径φ4mm以上、5~10mで内径φ6mm以上、10m以上の場合は内径φ9mm以上の配管が必要で、配管が長くなる場合には圧損の発生を防止して配管サイズを決めてください。
3. 操作空気配管中にはストップバルブ(納入範囲外)を設け、長期間オイルミストリムーバーを使用しない際にはバルブを閉じておいてください。
4. オイルミストリムーバーのレギュレーターの設定圧力は仕様表を参照し、設定してください。



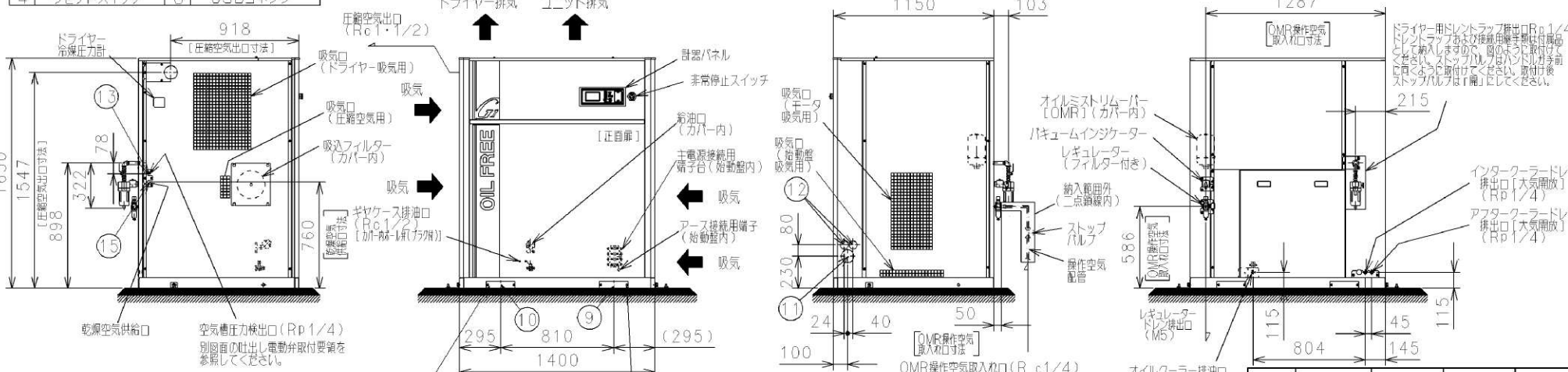
- ご注意(乾燥空気供給口)
1. 乾燥空気供給口の空気は、必ずドライヤー下流の乾燥空気としてください。
 2. 乾燥空気供給口の条件は下記としてください。
・オイルフリー
・露点10℃以下(圧下)
・圧力0.4~0.88MPa
 3. 乾燥空気配管は納入範囲外ですので据付場所に応じて貴社にてご準備ください。
 4. 乾燥空気配管中にはストップバルブ(納入範囲外)を設け、長期間保管時以外はバルブを開いてください。
- 排気タクト取付用ビス穴寸法は別図面の排気口詳細図を参照してください。

記号	記号説明	記号	記号説明
1	運転管理(カーナビ付)	5	E-MODEスイッチ
2	運転状況	6	運転スイッチ
3	メニュースイッチ	7	停止スイッチ
4	リセットスイッチ	8	USBコネクタ

仕様表

項目・単位	型式	DSP-37VATRG1
吐出し圧力 [ゲージ圧力]	MPa	0.70(5.0)
吐出し空気量 [低圧増量時]	m ³ /min	5.9(5.0) [6.2(6.0)]
巻回気温	℃	2~45
電源電圧 (50/60Hz)	V	三相200/200・220, 三相400/400・440
軸動力	kW	42.6以下
主モータ出力×極数	kW	37(SF1, 15)×6P
圧縮機最大電流 (50/60Hz)	A	157.0/157.4
400V線	A	82.0/81.9
コントローラ入力電流	A	151
400V線	A	79
ファンモータ出力	kW	1.1
冷凍機公称出力	kW	1.9
定格電流 (50/60Hz)	A	6.0/6.4
出口空気の露点	℃	10[圧力]
ドライヤー使用冷媒	-	R410A
潤滑油充填量	L	15(非充填)
圧縮機質量	kg	950
動作方式	-	真空エネクター方式
レギュレーター設定圧力 [ゲージ圧力]	MPa	0.15~0.18
空気消費量 [大気圧換算]	L/min	50

- 注) 1. ()内は、吐出し圧力 0.88MPa仕様を示します。
2. 吐出し空気量は、吐出し圧力時に吐出し空気量を吸入状態に換算した値です。
3. 吐出し空気量の保証値については、別途ご契約ください。
4. 使用モータ(主モータ)は、圧縮機専用の全閉型モータです。
5. 本圧縮機は圧縮空気を直接吸引する呼吸器系の機器には使用しないでください。
6. 圧縮機の取扱い気体は空気のみです。
7. 出口空気の露点は周囲温度30℃、吐出し圧力0.70MPaの条件における値です。
8. 低圧増量時の圧力は0.60MPaです。
9. 軸動力とは、当換機が空気を圧縮するための要するはつらきものを表し最大出力となります。



配線/配管接続口

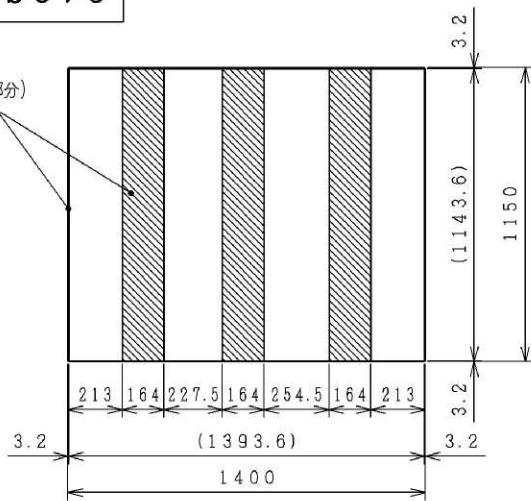
記号	記号説明
11	φ75穴(主電源接続口) [ゴムアッシュ付](1ヶ所)
12	φ45穴(外部配管接続口) [ゴムアッシュ付](2ヶ所)
13	φ25穴(空気槽圧力検出) (1ヶ所)
14	φ25穴(乾燥空気供給口) (1ヶ所)



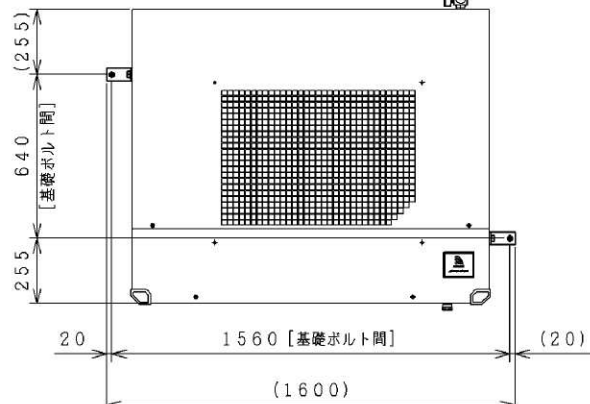
項目	内容	項目	内容	
図名	据付図	機種	DSP-37VAT(R)G1	
製図	A. Okada	2025-06-24	版数	1
審査	Y. Ito	2025-06-24	尺度	NTS
承認	Y. Ito	2025-06-24	製図方法	☉
株式会社 日立産機システム		図番	SG000589	

349S36162

接地部分
(ハッチング部分)



コモンベース接地面



機種	X	Y	Z	機種	X	Y	Z
DSP-22FATG1	693	614	541	DSP-22FATRG1	662	648	550
DSP-30FATG1	693	614	541	DSP-30FATRG1	651	667	553
DSP-37FATG1	693	614	541	DSP-37FATRG1	651	667	553
DSP-37VATG1	695	613	542	DSP-37VATRG1	652	662	554

ご注意

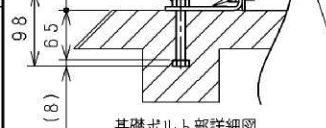
- 基礎への据付けは、ベースに付いているM16ナット(図中[a])を利用して固定ボルト(M16×35)で基礎ボルト金具を取付け、基礎ボルト(M12×90)で2ヶ所固定してください。
(基礎ボルト部詳細図参照)
固定ボルト(バネ座金付)、基礎ボルト、M12ナット、基礎ボルト金具は付属品となっています。
- 地耐力が1ton/m²未満の地盤では、基礎部に厚さ150mmの張出しを設け、底面荷重[全荷重(本体+基礎)/基礎底面積]を地耐力の1/3以下にするか、または杭打ちをして地耐力を増強してください。
- ユニットの水平を出した後、ベース底面と基礎面(床面)が隙間なく接するようにモルタルを充填してください。
なお、ベース底面と床面との間に隙間があると、圧縮機の振動が大きくなったり騒音値が高くなる場合がありますのでご注意ください。
- 基礎の水平度は6/1000未満としてください。

固定ボルト
M16×35
基礎ボルト
M12×90
M12ナット

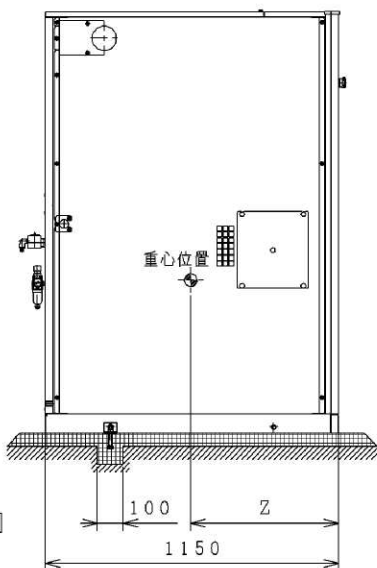
バネ座金

[a]

基礎ボルト金具

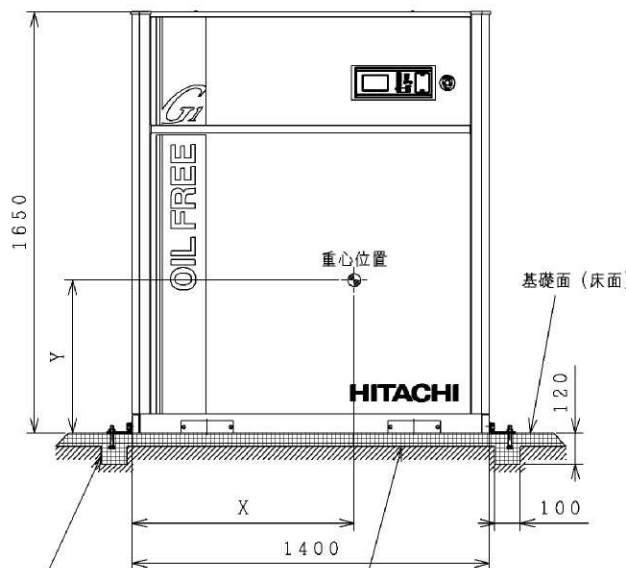


基礎ボルト部詳細図



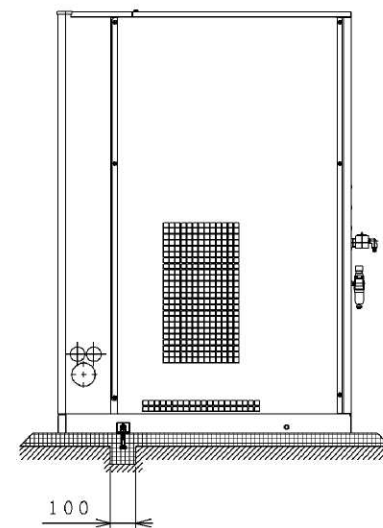
適用機種

DSP-22FAT (R) G1 DSP-30FAT (R) G1
DSP-37FAT (R) G1 DSP-37VAT (R) G1



コモンベースと床面の間に
モルタルを充填してください

基礎ボルト穴
100×100×深120



記号	年月日	訂正者	審査者	承認者
	来歴			

備考	品名 DSP-22/30/37FAT (R) G1 DSP-37VAT (R) G1 基礎ボルト位置図	投影法 NTS	尺度
製図 ニカドウ.シ	2020-07-07	株式会社 日立産機システム	
審査 サカイ.コ	2020-07-07	349S36162	
承認 ヤベ.ト	2020-07-07	校核	訂正
			入庫 2020 07-07